

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月4日

上場会社名 株式会社 マンダム  
 コード番号 4917 URL <http://www.mandom.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 西村 元延  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務管理部長 (氏名) 武田 勝則  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

上場取引所 東

TEL 06-6767-5001

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	44,069	—	5,452	—	5,689	—	2,952	—
20年3月期第3四半期	44,098	12.5	6,995	34.4	7,034	32.1	3,720	35.0

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	124.14	—	—	—
20年3月期第3四半期	156.38	—	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	52,709	78.5	45,131	78.1	—	—	1,738.81	—
20年3月期	54,218	—	45,868	—	—	—	1,779.67	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 41,360百万円 20年3月期 42,334百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
21年3月期	—	40.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	20.00	60.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	54,700	△2.8	4,590	△32.9	4,750	△29.1	2,260	△35.4	95.01	—

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 [(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 有  
 [(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 24,134,606株 20年3月期 24,134,606株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 347,722株 20年3月期 346,551株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 23,787,567株 20年3月期第3四半期 23,788,554株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年11月5日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。詳細は平成21年2月4日に別途公表いたしました「業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(9ヵ月)におけるわが国経済は、米国発の金融危機に端を発した世界経済の悪化により、企業収益の減少傾向や設備投資の抑制傾向が強まっていることから、景気の減速感が鮮明になってまいりました。当化粧品業界におきましても、消費者マインドの冷え込みにより厳しい収益環境下となりました。また、当社海外グループの事業エリアであるアジア経済も、世界経済の悪化により景気が拡大基調から一転して減速感が出てまいりました。

このような状況のもと、当第3四半期の連結売上高は、第2四半期までは順調に推移しましたが、直近3ヵ月(10月～12月)は急激な国内市場の落ち込みにより、当初計画を大幅に下回る水準で推移し、440億69百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

これは主として、国内においてコア・ブランド「ギャツビー」が堅調に推移したものの、急激な消費の落ち込みにより他の既存品の売上高が大幅に減少したことによるものであります。一方、アジア全域におきましては、急激な円高により海外子会社売上高の円換算額が目減りしたものの、「ギャツビー」ブランドを中心に順調に売上を拡大しました。

営業利益は、54億52百万円(同22.1%減)となりました。これは主として、国内における返品廃棄の増加ならびに海外生産拠点であるインドネシア子会社(PT MANDOM INDONESIA Tbk)のルピア安等の売上原価増加によるものであります。

この結果、経常利益は56億89百万円(同19.1%減)、四半期純利益は29億52百万円(同20.6%減)となり、当第3四半期連結累計期間の業績は微減収・大幅減益となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における売上高は283億37百万円(同4.0%減)となりました。主として、男性グルーミング分野においてコア・ブランド「ギャツビー」が堅調に推移したものの、「ルシード」などの他の既存ブランドの売上が伸び悩んだことや、女性コスメタリー分野においても主に女性用白髪染めの「プロデュース」ブランドの低迷により、売上高が大幅に減少したことによるものであります。利益面においても、売上高の落ち込みや返品増加による売上原価増加ならびに原材料価格の高止まりによるコストアップを受け、営業利益は30億37百万円(同30.6%減)となりました。

一方、アジアにおける売上高は157億31百万円(同7.9%増)となりました。これは一部地域の伸び悩みや急激な円高の影響による円換算額の減少があったものの、男性グルーミング分野における主力ブランド「ギャツビー」がアジア全域で堅調に推移したことや、インドネシア子会社(PT MANDOM INDONESIA Tbk)においても、海外売上高や女性用化粧品が順調に売上を伸ばしたことによるものであります。利益面においては、主として海外生産拠点であるインドネシア子会社において、原材料価格の高止まりや為替のマイナス影響による売上原価増加があったことから、営業利益は24億8百万円(同7.9%減)となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、主に投資有価証券が減少したことにより前期末より15億9百万円減少して527億9百万円となりました。純資産は主に金融市場の悪化や為替のマイナス影響等により評価・換算差額等が大幅に減少したことから、前期末より7億37百万円減少して451億31百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、26億16百万円のキャッシュ・インとなりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が56億72百万円(前年同期は70億11百万円)、売上債権の増加額が13億64百万円、未払金の減少額が5億71百万円、法人税等の支払額が27億86百万円(前年同期は15億9百万円)であったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億37百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは主として、日本およびインドネシアにおける設備投資を中心に有形固定資産の取得による支出が16億23百万円、有価証券・投資有価証券の取得および売却・償還による収支額が18億83百万円のキャッシュ・イン、インドネシアにおける長期前払費用の取得による支出が8億66百万円であったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、20億12百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは主として、インドネシア子会社の少数株主への配当金の支払額を含め株主配当金の支払額が23億34百万円であったことによるものであります。なお、連結範囲の変更に伴い現金及び現金同等物が69百万円増加しております。

以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物は、7億48百万円減少し90億42百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の連結売上高は、直近3ヵ月(10月～12月)の国内売上高の不振が予想外に大きく、当初計画を下回る水準で推移しました。第4四半期においても、引き続き国内市場の低迷が予想されることや、為替のマイナス影響による海外子会社各社の売上高の円換算額減少から当初計画を大幅に下回る見通しとなったため、通期の予想売上高を前回公表数値より37億円引き下げることにいたしました。

また利益面におきましても、売上高の減少に伴う売上総利益の減少や為替のマイナス影響による海外子会社財務諸表の円換算額の減少がより一層見込まれることから、営業利益を23億10百万円、経常利益を20億80百万円、またマンダム単体における有価証券評価損が想定されることから、当期純利益を12億60百万円、前回公表数値より引き下げることにいたしました。当該見通しは主要な為替レートに関して、0.0108円/インドネシアルピアを前提として算定しております。

なお、平成20年11月5日の第2四半期決算短信で発表しました通期連結業績予想との差異は以下のとおりです。

## (通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	58,400	6,900	6,830	3,520	147 98
今回修正予想(B)	54,700	4,590	4,750	2,260	95 01
増減額(B-A)	△3,700	△2,310	△2,080	△1,260	—
増減率(%)	△6.3	△33.5	△30.5	△35.8	—
前期実績	56,289	6,837	6,704	3,499	147 13

## &lt;参考&gt;

## (通期個別業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,000	4,350	5,000	3,130	131 58
今回修正予想(B)	36,700	2,430	3,270	1,980	83 24
増減額(B-A)	△3,300	△1,920	△1,730	△1,150	—
増減率(%)	△8.3	△44.1	△34.6	△36.7	—
前期実績	38,859	4,069	4,421	2,720	114 38

注) 平成20年5月13日の「平成20年3月期決算短信」で発表しております。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当社および国内連結子会社は当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））および「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更により、従来、営業外費用で処理しておりました「たな卸資産廃棄損」は、第1四半期連結会計期間より売上原価に含めて処理しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上総利益および営業利益はそれぞれ212,037千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

4. 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,803,161	5,066,727
受取手形及び売掛金	6,835,237	5,689,044
有価証券	7,632,227	7,452,449
商品	1,613,529	1,452,136
製品	3,113,847	3,366,637
半製品	—	112
原材料	1,676,599	1,389,003
仕掛品	299,875	269,088
その他	1,770,523	1,600,498
貸倒引当金	△20,711	△14,492
流動資産合計	28,724,290	26,271,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,539,762	8,971,562
その他（純額）	6,312,483	6,387,707
有形固定資産合計	14,852,246	15,359,269
無形固定資産		
のれん	399,645	137,235
その他	315,318	354,705
無形固定資産合計	714,964	491,941
投資その他の資産		
投資有価証券	5,990,858	10,796,717
その他	2,524,082	1,387,662
貸倒引当金	△96,909	△87,922
投資その他の資産合計	8,418,031	12,096,457
固定資産合計	23,985,242	27,947,668
資産合計	52,709,533	54,218,874

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,168,861	799,311
未払法人税等	826,706	1,434,846
賞与引当金	529,703	750,789
その他の引当金	296,949	403,500
その他	3,154,394	3,328,345
流動負債合計	5,976,614	6,716,793
固定負債		
退職給付引当金	541,900	466,902
役員退職慰労引当金	16,936	20,684
その他	1,042,216	1,145,511
固定負債合計	1,601,053	1,633,098
負債合計	7,577,668	8,349,892
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,394,817	11,394,817
資本剰余金	11,235,208	11,235,206
利益剰余金	23,807,470	23,129,484
自己株式	△956,532	△953,356
株主資本合計	45,480,964	44,806,151
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△452,173	156,262
為替換算調整勘定	△3,667,830	△2,627,631
評価・換算差額等合計	△4,120,003	△2,471,369
少数株主持分	3,770,905	3,534,200
純資産合計	45,131,865	45,868,982
負債純資産合計	52,709,533	54,218,874

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	44,069,600
売上原価	19,853,482
売上総利益	24,216,117
販売費及び一般管理費	18,763,490
営業利益	5,452,627
営業外収益	
受取利息	109,492
受取配当金	78,271
その他	171,657
営業外収益合計	359,421
営業外費用	
売上割引	28,921
為替差損	55,355
その他	38,619
営業外費用合計	122,895
経常利益	5,689,153
特別利益	
貸倒引当金戻入額	119
固定資産売却益	11,765
投資有価証券売却益	8,936
特別利益合計	20,822
特別損失	
固定資産売却損	4,755
固定資産除却損	26,889
投資有価証券売却損	1,959
投資有価証券評価損	3,639
特別損失合計	37,244
税金等調整前四半期純利益	5,672,731
法人税等	2,172,913
少数株主利益	546,875
四半期純利益	2,952,942

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	13,198,613
売上原価	6,116,735
売上総利益	7,081,877
販売費及び一般管理費	6,132,642
営業利益	949,234
営業外収益	
受取利息	43,713
受取配当金	34,318
その他	50,015
営業外収益合計	128,047
営業外費用	
売上割引	8,773
為替差損	22,624
その他	6,979
営業外費用合計	38,377
経常利益	1,038,905
特別利益	
固定資産売却益	4,423
特別利益合計	4,423
特別損失	
固定資産売却損	1,391
固定資産除却損	6,852
投資有価証券売却損	1,959
投資有価証券評価損	3,639
特別損失合計	13,843
税金等調整前四半期純利益	1,029,485
法人税等	332,045
少数株主利益	207,974
四半期純利益	489,465

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	5,672,731
減価償却費	1,763,935
のれん償却額	112,677
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,976
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,639
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14,600
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△212,163
受取利息及び受取配当金	△187,763
為替差損益 (△は益)	1,586
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,364,425
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△482,486
仕入債務の増減額 (△は減少)	430,629
未払金の増減額 (△は減少)	△571,670
その他	43,605
小計	5,217,917
利息及び配当金の受取額	185,057
法人税等の支払額	△2,786,265
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,616,708
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△7,891,689
有価証券の売却及び償還による収入	4,900,000
有形固定資産の取得による支出	△1,623,534
有形固定資産の売却による収入	19,836
無形固定資産の取得による支出	△113,353
投資有価証券の取得による支出	△477,284
投資有価証券の売却及び償還による収入	5,352,280
子会社出資金の取得による支出	△75,716
長期前払費用の取得による支出	△866,880
その他	△261,646
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,037,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△2,124,768
少数株主への配当金の支払額	△209,362
少数株主からの払込みによる収入	333,986
その他	△12,722
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,012,866
現金及び現金同等物に係る換算差額	△383,678
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△817,823
現金及び現金同等物の期首残高	9,791,122
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	69,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,042,948

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	日本(千円)	アジア(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	28,337,812	15,731,787	44,069,600	—	44,069,600
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,264,767	479,415	2,744,183	△2,744,183	—
計	30,602,580	16,211,203	46,813,783	△2,744,183	44,069,600
営業利益	3,037,020	2,408,921	5,445,941	6,685	5,452,627

## (注) 1. 国又は地域の区分の方法

事業活動の相互関連性により区分しております。

## 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア：インドネシア、中国、韓国、シンガポール、マレーシア、台湾、フィリピン、タイ

## 3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」2. (1)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、日本で108,530千円、アジアで103,507千円それぞれ減少しております。

## [海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	14,263,040	1,751,681	16,014,721
II 連結売上高(千円)			44,069,600
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	32.3	4.0	36.3

## (注) 1. 国又は地域の区分の方法

事業活動の相互関連性により区分しております。

## 2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア：東アジアおよび東南アジア諸国

その他の地域：アラブ首長国連邦、ブラジル、ロシア、北米等

## 3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前四半期にかかる財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～12月31日)

(単位:百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額
I 売上高	44,098
II 売上原価	18,663
売上総利益	25,435
III 販売費及び一般管理費	18,440
営業利益	6,995
IV 営業外収益	406
受取利息及び受取配当金	172
その他	233
V 営業外費用	367
たな卸資産廃棄損	252
その他	115
経常利益	7,034
VI 特別利益	61
VII 特別損失	83
税金等調整前四半期純利益	7,011
税金費用	2,739
少数株主利益	551
四半期純利益	3,720

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～12月31日)

(単位:百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	7,011
減価償却費	1,637
売上債権の増減額 (増加:△)	△ 656
たな卸資産の増減額 (増加:△)	166
仕入債務の増減額 (減少:△)	△ 89
法人税等の支払額	△1,509
その他	△ 883
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,678
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券・投資有価証券の取得による支出	△5,399
有価証券・投資有価証券の償還および売却による収入	5,014
有形固定資産の取得による支出	△1,700
無形固定資産の取得による支出	△ 79
その他	△ 435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,600
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△1,569
自己株式の取得による支出	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,571
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 51
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少:△)	1,454
VI 現金及び現金同等物の期首残高	8,783
VII 連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加高	163
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	10,401

## (3) セグメント情報

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

（単位：百万円）

	日本	アジア	合計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	29,518	14,580	44,098	—	44,098
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,062	518	2,581	△ 2,581	—
計	31,580	15,099	46,679	△ 2,581	44,098
営業費用	27,202	12,484	39,686	△ 2,582	37,103
営業利益	4,378	2,615	6,993	1	6,995

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

（単位：百万円）

	アジア	その他	計
I. 海外売上高	13,565	1,370	14,936
II. 連結売上高			44,098
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合	% 30.8	% 3.1	% 33.9

「参考」  
 四半期個別財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	2,840,983	2,630,307
受取手形及び売掛金	3,293,516	3,112,419
有価証券	7,632,227	7,452,449
商品	361,833	332,208
製品	2,015,076	2,047,925
半製品	—	112
原材料	626,557	545,254
仕掛品	129,880	146,797
その他	1,133,218	1,067,278
貸倒引当金	△475	△373
流動資産合計	18,032,819	17,334,382
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,965,365	7,233,595
その他(純額)	4,317,295	4,036,322
有形固定資産合計	11,282,661	11,269,918
無形固定資産		
	279,894	310,752
投資その他の資産		
投資有価証券	5,705,746	9,780,497
関係会社株式	7,079,389	6,512,460
その他	3,163,441	2,013,082
貸倒引当金	△85,631	△85,323
投資その他の資産合計	15,862,946	18,220,716
固定資産合計	27,425,502	29,801,388
資産合計	45,458,321	47,135,770

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	719,908	708,147
未払法人税等	435,353	1,171,354
賞与引当金	340,326	651,361
その他の引当金	271,800	403,500
その他	2,463,022	2,683,173
流動負債合計	4,230,411	5,617,537
固定負債		
引当金	190,060	122,599
その他	1,003,751	1,043,790
固定負債合計	1,193,812	1,166,390
負債合計	5,424,223	6,783,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394,817	11,394,817
資本剰余金	11,235,208	11,235,206
利益剰余金	18,816,294	18,522,438
自己株式	△956,532	△953,356
株主資本合計	40,489,787	40,199,105
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△455,689	152,737
評価・換算差額等合計	△455,689	152,737
純資産合計	40,034,098	40,351,842
負債純資産合計	45,458,321	47,135,770

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	29,231,295
売上原価	12,966,754
売上総利益	16,264,540
販売費及び一般管理費	13,282,500
営業利益	2,982,039
営業外収益	
受取配当金	753,304
その他	171,143
営業外収益合計	924,447
営業外費用	
為替差損	39,799
その他	80,958
営業外費用合計	120,758
経常利益	3,785,729
特別利益	
貸倒引当金戻入額	44
固定資産売却益	375
投資有価証券売却益	8,936
特別利益合計	9,356
特別損失	
固定資産売却損	2,753
固定資産除却損	20,679
投資有価証券売却損	1,959
投資有価証券評価損	3,639
特別損失合計	29,031
税引前四半期純利益	3,766,053
法人税等	1,331,299
四半期純利益	2,434,753

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## 【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	7,933,769
売上原価	3,633,850
売上総利益	4,299,919
販売費及び一般管理費	4,139,236
営業利益	160,683
営業外収益	
受取配当金	34,090
その他	49,861
営業外収益合計	83,951
営業外費用	
為替差損	28,595
その他	22,425
営業外費用合計	51,020
経常利益	193,614
特別利益	
固定資産売却益	375
特別利益合計	375
特別損失	
固定資産除却損	943
投資有価証券売却損	1,959
投資有価証券評価損	3,639
特別損失合計	6,543
税引前四半期純利益	187,446
法人税等	50,516
四半期純利益	136,930

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。